



山陽グループは、「信頼の経営」を経営理念とし、「社会からの信頼」、「お客様からの信頼」、「人と人との信頼」を確立することを目指しています。企業は「社会的な存在」であり、株主のみならず、社員、需要家、取引先、地域等、様々な利害関係者（ステークホルダー）とバランスの取れた関係を続けていくことが非常に重要となります。ステークホルダーからの厚い信頼を獲得することを目指し、経営理念「信頼の経営」の実践を通じた様々な諸施策・取り組みを展開しています。

## 社会との共生、安全と健康

企業は社会的な存在である以上、「社会との共生」を積極的に図っていくことが求められています。企業は事業経営をしている限り、利益を上げなければなりません、

それと同時に、社会を構成する一員としての責任を果たし、ステークホルダーからの信頼を得なければ、存続していくことはできません。法律だけでなく、その時々や時代によって変化していく社会のルールや倫理観に沿った行動をすることの必要性を忘れず、仕事や行動を通して、社会的責任を果たしていくことが不可欠です。

また、企業は人によって成り立っています。心身の健全な社員・グループ会社員・協力会社員によって、はじめて健全な事業経営が行われます。従って、そこで働く人の「安全と健康」の確保が非常に重要な課題となります。「安全と健康」のために様々な努力をしておりますが、これまでに以上に「安全と健康」確保のための施策・解決策を追求していく所存です。

## ■ 第7次中期連結経営計画（2008年度～2010年度）

### 1. 経営基本方針

**「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大**

高品質の特殊鋼の安定的な供給を通じ、需要家の競争力向上に貢献するとともに、当社としても利益成長を図り、事業基盤を一層強化して「世界に存在感を示す特殊鋼メーカー」を目指す。

### 2. 連結経営数値目標

（単位：億円）

	2007年度（実績）	2010年度（計画）	増 減
売上高	1,684	2,000	316
営業利益	139	200	61
経常利益	130	190	60
当期純利益	72	110	38
総資産	1,575	2,100	525
有利子負債	329	430	101
ROS	7.7%	9.5%	1.8%
ROE	7.9%	9.2%	1.3%
単体販売数量	8万ト/月	9万ト/月	1万ト/月

【主要前提】  
鉄スクラップ価格…2007年度平均横ばい  
製品単価……………2007年度平均横ばい  
マージン……………一定  
為 替……………105円/ドル